牧田諦亮監・落合俊典編

七寺古逸經典研究叢書　第四卷

中國日本撰述經典（其之四）・漢譯經典

大東出版社

PDG

The Long Hidden Scriptures
of
Nanatsu-dera, Research Series.

Volume IV.

SCRIPTURES COMPOSED IN CHINA AND JAPAN, SCRIPTURES TRANSLATED INTO CHINESE (Extractions)

Volume IV.

Editor in Chief

MAKITA TAIRYŌ

Managing Editor

OCHIAI TOSHINORI

DAITŌ Publishing House, TOKYO
1999

PDG

七寺古逸經典研究叢書　第四卷
中國日本撰述經典（其之四）・漢譯經典

一九九九年二月二〇日　初版第一刷發行©　　定價　二六、二五〇円

監　修　牧田諦亮（まきたたいりょう）
編　集　落合俊典（おちあいとしのり）
著作權者　牧田諦亮　福井文雅　宮井里佳　直海玄哲
齊藤隆信　衣川賢次　牧野和夫　宮林昭彦
福原隆善　落合俊典　榎本文雄　木村清孝
岩松淺夫　笹田教彰　河野　訓　增尾伸一郎
菊地章太
研究成果刊行費補助金申請者　落合俊典
發行者　岩野文世
發行所　株式會社　大東出版社
〒113-0001 東京都文京區白山一―三七―一〇
電〇三（三八一六）七六〇七　FAX〇三（三八一八）一五二八
印刷・熊谷印刷　製本・關山製本社

補助金交付：文部省科學研究費補助金「研究成果公開促進費」

ISBN4-500-00605-2 C3315 ¥25000E

大乘毘沙門功德經善生品第二

尒時釋迦牟尼佛告毘沙門天王并今三方

級等護世者四天王各如所生義毘

沙天王而白佛言我等不覺知

唯願佛為吾等四天王說演所生義

佛告四天王等言諦聽善思念之我為

天王演說所生義所以者何多門天

王與持国天王二人同父同母今二者天王

各所生義異先我說多門天王持国天王所

生次等四王一心覺知次第義所以者何

昔於東城国有一女王名曰善觀於其之王

有一后名曰勝迦羅女於此二人生一男子

名曰善生此人為性具足儀容於天下元匹

又於西城国有一女王名曰明道於其之王

有一女后名曰淵善女於此二人生一女人

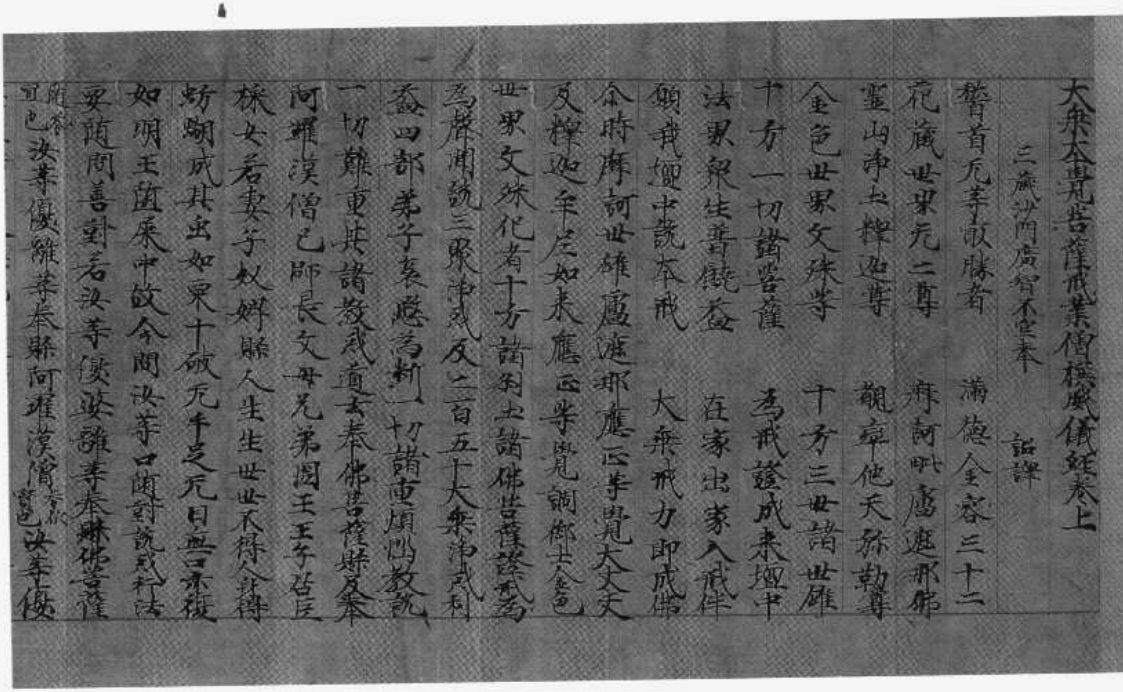
名曰阿就頭女此人為性具足威儀於其国

无比

尒時二人各各通心思惟有因緣欲成夫妻

相愛无離而從東城国於舍衛国中間度七

七寺藏・大乘毘沙門功德經善生品第二　巻首部分



大乘本覺菩薩戒業僧撰威儀經卷上

三藏沙門廣智不空奉　　詔譯

稽首无等叙勝者　　滿德金容三十二
花嚴世界无二尊　　釋迦牟尼佛遮那佛
蓮花淨土釋迦尊　　觀音他天孫勒尊
金色世界文殊等　　十方三世諸世雄
十方一切諸菩薩　　為戒蓮成來壇中
法界衆生普饒益　　在家出家入戒伴
願我壇中說本戒　　大乘戒力即成佛
尒時釋迦世雄廣遮那應正等覺大文殊
及釋迦牟尼如來應正等覺調御丈夫
世界文殊化者十方諸剎土諸佛菩薩為
為聲聞說三聚淨戒及二百五十大乘淨戒利
益四部弟子衰惱為斷一切諸重煩惱教說
一切離重其諸教戒直去奉佛菩薩縣及奉
阿羅漢僧已師長父母兄弟國王王子臣
樣女若妻子奴婢縣人生生世世不得人身離
妨嘲成其出如果十破无千之元目無口赤授
如明王菩薩中故今問汝等口隨對說戒利法
要隨問善對若汝等優婆離等奉縣佛菩薩
隨答　　直已汝等優婆離等奉縣阿羅漢僧答　　覺已汝等優

七寺藏・大乘本覺菩薩戒業僧撰威儀經卷上（大乘授戒經）卷首部分

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

監　序

牧田諦亮

文部省科學研究費補助金「研究成果公開促進費」の交付をはじめ、各方面からの溫い御援助によってこの『七寺古逸經典研究叢書』も、第五回配本としての第四卷『中國日本撰述經典（其之四）・漢譯經典』の刊行を見ることとなった。八年以上も續けられてきた、年間四十回にも達する毎週金曜日の定例研究會をふくめて、主編者落合俊典教授をはじめ各研究擔當者のたゆまざる努力の結晶ともいえよう。七寺の平安末期書寫一切經（現存四、九五四卷）の中に、刊本大藏經には入藏されていない多くの經典（別生經・疑經類）が、奈良時代またはそれ以前に、中國・朝鮮などで書寫されたものの轉寫本であることはよく知られている。しかし『今昔物語集』の中に、ほとんど原典のままで收められ、從來は中國で撰述されたと思われていた『大乘毘沙門功德經』など一連の疑經類が、日本で撰述された可能性も考慮せざるを得なくなった。本卷所收のこのような疑經類の確認はまだ作業中の段階ではあるが、平安佛教の新展開の課題として、小林芳規博士の「漢譯佛典の日本的受容」（岩波講座、『日本文學と佛教』第六卷所收）という提案と併せ研究さるべきものと思われる。この見地からは、私たちの本卷における『大乘毘沙門功德經』を中心とする諸研究も、いわばその過程の中での一墓標であるにすぎないかも知れない。

われわれの研究會に熱心な參加協力を惜しまれなかった中國社會科學院世界宗教研究所の方廣錩先生主編の『藏外佛教文獻』も、積極的な研究活動の推進によって、一九九五年十二月第一册出版から、一九九八年九月に第六册の第

一期刊行を終えられた。これが疑經研究の上に重要な貢獻であることは銘記すべきである。

本叢書も平成十二年（二〇〇〇）二月には、第六回配本としての第五卷「中國日本撰述書」を刊行して一應の目的を完成すべく、新たな努力を傾注している。西暦二〇〇〇年は、また敦煌寶藏――第十七藏經洞發見一百周年にあたる。敦煌藏經洞の發見が、日本の佛教界では、のちに矢吹慶輝博士『三階教之研究』を產み、望月信亨博士の『佛教經典成立史論』の刊行にともなって、多大の影響を世界の學界に及ぼした。本會の研究成果の刊行も、その連鎖の中の一活動である。

（七寺古逸經典研究會會長）

序

落合俊典

本卷の資料篇の前半部は、中國佛教の壓倒的な影響を受けながらも日本佛教獨自の展開を見せ始めたと思しき時代に自らの見解を佛教經典に託した日本成立の撰述經典を取り上げている。日本撰述とはいえ、中國佛教の影響は隨所に散見し、その區分けは非常に難しい。漢譯經典をほとんどそのまま轉寫しているものもある。先行する經典が明確に判明するものは、加上された思想がどのようなものか理解できるが、多くの撰述經典はそれらの境界が曖昧である。これらの撰述經典は佛教經典に假託し、なおかつ漢語で表現しようとしているため、中國の佛教思想をどの程度受容しているか、またその他の思想をどう組み合わせているか實に複雜なる樣相を呈している。それゆえに中國日本撰述經典と題したのである。

研究班では各資料に基づいて懸命に解明に心掛けたが、未解決の箇所も隨所に殘った。寫本が孤本であって對校資料を缺き、かつ他處に引用されるケースが少ないという制約のためである。校訂にまでたどりつけない資料が多く、苦難の道程であった。これも從來の日本佛教研究において、日本成立の撰述經典の研究がなおざりにされてきたことと關係があるだろう。

翻ってヨーロッパの人文分野においても近世まではラテン語は文典の共通言語であったそうだが、例えば西洋古典學に優れたイギリス人がラテン語で書物を書いた場合、後世の我々がそれを見拔くことは決して容易ではないだろう。

同様に東アジア世界でも漢語は知識人、文人、僧侶の共通言語であった。圓仁の『入唐求法巡禮行記』は漢文で書かれているが、董志翹氏の見解によれば入唐當初の漢文は日本色が強く、中國での生活に慣れてくるにつれて表現も的確なものになってきているそうである。

日本撰述經典というものは、漢譯された佛教經典の形式・表現になぞらえて、獨自の主張を展開するものが多い。そのように潤色されている資料に對して、書寫段階の誤寫の可能性を考慮しつつ、中國的表現と日本的表現とを峻別する作業が必要である。『大乘毘沙門功德經』は『今昔物語集』に引用されている內容から類推して、中唐以降の成立と考えられていたものである。筆者は當初この內容から唐の成立というようよりも、遼代佛教の影響が強く感じられていたが、研究會での讀解が進むにつれ、唐・遼の佛教の影響を色濃く受けながらも成立は日本であると考えを改めた。『大乘毘沙門功德經』を一讀されたならば『日本靈異記』などとはまた異なった不思議な佛教世界が展開されていることに瞠目するであろう。齊藤隆信氏を中心に、漢語の語法から衣川賢次氏の見解を取り入れて纏まったのが翻刻・校訂である。訓讀文は傳統的な佛教漢文讀みに從った。

＊　＊

『三星大仙人所說陀羅尼經』は、日本で古代以來隆盛を見た妙見信仰の所依經典のひとつと想定される資料である。妙見信仰は中國で展開を見ていないようであるが、さりとて七寺本もまたどのような狀況下に成立したのか判然としない。翻刻・訓讀・解題は福井文雅早稻田大學教授にその勞を取っていただいた。また增尾伸一郎氏は本書の成立に關して鋭い說を展開され、裨益する所が多い。

日本撰述の佛教經典と推定され得るものは二、三十を數えるであろうが、日本撰述と明確に判定できる經典を一例擧げよと言われれば、『大乘授戒經』がその筆頭に上ることは間違いない。この經典は信じられないほど大仰に作っ

たものであるから、少しく日本佛教を學んだ者なら、その作爲の痕跡が隨所に露わなことを見拔くことが可能である。およそ誰にでも見破られるような經典を何故に作成したのであろうか。この經典名での引用例が見られないことを含めて考えると、本書は當初より流布せしめる意圖が全くなかったものではないだろうか。大乘佛教の戒律に二百五十戒を具體的に列擧したことは、大乘佛教の根本思想を全く理解していない者の創作に違いないが、『梵網經』『顯戒論』『山家學生式』などの天台宗の基本書を一應下敷きにしていることから、學識はそれなりに有していたと思われる。恐らく內外からの單純かつ素朴な質問に答えるべく、一面安易に、また別の一面では相當苦心慘憺して創作されたに違いない。最澄の大乘戒壇設立の悲願が成就されたあとも、南都の佛教との相違、また中國佛教との關連についての質疑が續いたことは事實である。影印の翻字は宮林昭彥大正大學教授が早くから着手され、それを基に會讀を進めたが、新たな讀みはなかなか出て來なかった。

そのほか『大願功德六齋經』、『流行道經』、『彼岸神呪成就經』などもまた日本撰述の經典であるがどれも難解な書物である。直海玄哲氏の努力にも關わらず、『流行道經』や『彼岸神呪成就經』などを引用した文獻を見いだすことは出來なかった。幸い『大願功德六齋經』は『佛說正平等安穩藥師三願經』（京都大八木興文堂刊『（增補）眞言祕密諸經要集』四四五頁～四四七頁）に類似する經文が見出だされ、若干の手掛かりが得られた。これは宮井里佳氏が擔當している。

今回、數多くの中國撰述經典に加えて新たに日本の撰述經典を學界に紹介することが出來たが、世界の疑經研究も急速に厚みを增してきたように思われる。海外の最新研究動向をも取り入れた「疑經研究文獻目錄」を菊地章太氏にお願いした。

＊　＊

本卷所收の漢譯經典は所謂別生經とも別存經とも言われるジャンルの經典である。別に存在するとの謂いからも想定されるように、主に大部の經典の一部が取り出され流行したものが多い。『大方廣如來性起微密藏經』二卷は『華嚴經』六十卷本の「性起品」から、『虛空藏菩薩問持經得幾福經』一卷は『大集經』六十卷の「虛空藏品」からの抄出と考えられる。ただしかし、これは一面的な見方であり、別生經そのものが先行して譯された可能性もあり、從來未發見であった資料の出現によってこの分野の研究が大きく前進するであろう。本書を擔當された木村清孝東大教授がこの微妙かつ複雜な分野にメスを入れられている。また『度梵志經』や『本行六波羅蜜經』は、智昇の『開元錄』に出典未詳であったものであるが榎本文雄氏の研究によってその出典が判明した。所謂別生經であったのである。

七寺一切經における別生經の位置付けと、智昇の『開元錄』における別生經の取り扱いについての諸問題は筆者の擔當であり、不十分ながらも從來殆ど見過ごされてきた問題について論じた。七寺一切經という、言わば別生經の寶庫の出現によって此の方面の研究は大いに進むこととなったが、結論から言えば、智昇に代表される唐の八世紀の前葉までの中國佛教の漢譯經典研究の學的成果がいかに充實していたかが實證されたことになる。從來はともかく別生經そのものが殆ど缺落していたために、智昇の見解をただ其の通りに記述するだけで確認しようがなかったのである。今ここに『行七行現報經』『戒相應經』『有衆生三世作惡經』などの確證が得られた。現存しない別生經について智昇の評價の妥當性は判斷できないが、しかしそれでもおおよその推定は可能となった。失譯、抄譯、別生經などの少なくとも七寺一切經の不入藏錄所載のものについては、智昇の評價と一致する。これは地味な檢證であるが、漢譯經典研究史上實に大きな一歩であろう。唐の始まりから百年、より正確に言えば『大周錄』成立以後の唐學問佛教の基礎的作業の成果とみなされる。

（七寺古逸經典研究會幹事）

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

目　次

監序　牧田諦亮
序　落合俊典

資料篇

中國日本撰述經典

三星大仙人所說陀羅尼經（擔當　福井文雅）……3
影印・翻刻
訓讀・解題
大願功德六齋經（擔當　宮井里佳）……25
影印・翻刻
訓讀・解題
流行道經（擔當　直海玄哲）……41

影印・翻刻
訓讀・解題
彼岸神呪成就經（擔當　牧田諦亮・直海玄哲）……75
影印・翻刻
訓讀・解題
大乘毘沙門功德經（擔當　齊藤隆信・衣川賢次・牧野和夫）……97
影印・校訂
人名・世界地名索引
訓讀・解題
〈附論〉『大乘毘沙門功德經』の言語（衣川賢次）……425
參考資料
（佛教大學圖書館藏）佛道修行教文本（擔當　笹田教彰・牧野和夫）……433
大乘授戒經（擔當　宮林昭彦・福原隆善・落合俊典）……477
影印・翻刻
訓讀・解題

漢譯經典（別生經）

度梵志經（擔當　榎本文雄）……531
影印・翻刻
解題
本行六波羅蜜經（擔當　榎本文雄）……543
影印・翻刻
解題
大方廣如來性起微密藏經（擔當　木村清孝）……555
影印・翻刻
解題
虛空藏菩薩問持經幾福經（擔當　岩松淺夫）……683
影印・翻刻
解題

研究篇

中國撰述經典について……河野　訓……703

七寺本『三星大仙人所説陀羅尼經』成立考
——妙見信仰・尊皇王法との關連をめぐって——……増尾伸一郎……727
七寺一切經に見られる不入藏錄所載の別生經について……落合俊典……757
七寺藏『大乘毘沙門功德經』と「因緣・説話」……牧野和夫……787
疑經研究文獻目錄……菊地章太……912
あとがき
英文目次

CONTENTS

Preface to the Series
by Makita Tairyō, Editor in Chief
by Ochiai Toshinori, Managing Editor

Research Materials
Scriptures Composed in China and Japan
1. by Fukui Fumimasa
The *Sanseidaisennin Shosetsu Daranikyō*
Photographic reproduction and transcription ····· 3
Japanese *kundoku* reading ····· 15
Summary of the *Sanseidaisennin Shosetsu Daranikyō* ····· 21
2. by Miyai Rika
The *Daigankudoku Rokusaikyō*
Photographic reproduction and transcription ····· 25
Japanese *kundoku* reading ····· 30
Summary of the *Daigankudoku Rokusaikyō* ····· 32
3. by Naomi Gentetsu
The *Rugyōdōkyō*
Photographic reproduction and transcription ····· 41
Japanese *kundoku* reading ····· 58
Summary of the *Rugyōdōkyō* ····· 66
4. by Makita Tairyō, Naomi Gentetsu
The *Higanjinjujyōjukyō*
Photographic reproduction and transcription ····· 75
Japanese *kundoku* reading ····· 84
Summary of the *Higanjinjujyōjukyō* ····· 88
5. by Saitō Takanobu, Kinugawa kenji, Makino Kazuo
The *Daijyō Bishamon Kudokukyō*
Photographic reproduction and transcription ····· 97
Japanese *kundoku* reading ····· 284

Summary of the *Daijyō Bishamon Kudokukyō* ·····387
Additional Paper
Kinugawa Kenji
Vocaburary and Grammar of the *Daijyō Bishamon Kudokukyō* ·····425
Reference Material
by Sasada kyōsyō, Makino Kazuo
The *Butsudōshugyōkyōmon hon*
(held in the Bukkyō University Library, KYOTO)
Photographic reproduction and transcription ·····433
6. by Miyabayashi Akihiko, Fukuhara Ryūzen, Ochiai Toshinori
The *Daijyōjukaikyō*
Photographic reproduction and transcription·····477
Japanese *kundoku* reading·····496
Summary of the *Daijyōjukaikyō* ·····520

Scriptures Translated into Chinese (Extractions)

1. by Enomoto Fumio
The *Dufanzhijing*
Photographic reproduction and transcription·····531
Summary of the *Dufanzhijing*·····674
2. by Enomoto Fumio
The *Benxingliuboluomijing*
Photographic reproduction and transcription·····543
Summary of the *Benxingliuboluomijing*·····550
3. by Kimura Kiyotaka
The *Dafangguangrulaixingqiweimizangjing*
Photographic reproduction and transcription·····555
Summary of the *Dafangguangrulaixingqiweimizangjing*·····674
4. by Iwamatsu Asao
The *Xukongzongpusawenchijingdejifujing*
Photographic reproduction and transcription·····683
Summary of the *Xukongzongpusawenchijingdejifujing* ·····695

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com